

一般社団法人 岐阜県臨床検査技師会
令和6年度 第4回常務理事・部長会 議事録

開催日時：令和6年11月28日（木）19時00分～21時00分

開催場所：Zoomによる会議

出席者：岡村、山口、酒井、乾、澤野、森本、市川、荻谷、日比

欠席者：渡邊、菊地

議長：岡村（会長）

議事録：日比（庶務部長）

報告事項および議題

1. 関係各所からの報告【日臨技・県・厚労省・その他】 [岡村会長]：資料配布済み

- ① 日臨技より；フリーランス・事業者間取引適正化等法に関する説明会の開催と法の遵守についての周知依頼があり一斉メールで対応した。
- ② 日臨技より；体外診断用医薬品の添付文書に関するアンケート調査へのご協力についての周知依頼があり施設責任者宛ての一斉メールで対応した。
- ③ 修文大学 岩崎先生より；第15回日本臨床一般検査学会、第21回スキルアップ講習会終了の報告があった。
- ④ 静臨技学術部より；中部圏支部に向けた講習会参加呼びかけ依頼があり一斉メールを送信した。
- ⑤ 岐阜県健康福祉部より；2025年度 第44回「福見秀雄賞」候補者の推薦について、現時点で推薦に至っていない。候補者があれば教えていただきたい。
- ⑥ 日臨技より；避難所運営ゲーム（HUG）の貸し出しについての案内があった。会費関連については乾会計部長から報告（後述）。
- ⑦ 菊地先生より；中部圏支部幹事会議概要記録について、菊地先生欠席のため岡村会長から説明（後述）。
- ⑧ 厚生労働省より；「劇場版 ドクターX」と「医療安全推進週間」のタイアップについての広報依頼があり一斉メールで対応した。
- ⑨ 菊地先生より；日臨技（第5回理事会）報告事項・支部学会開催準備について、菊地先生欠席のため岡村会長から説明（後述）。
- ⑩ 日臨技より；【徳島県】災害時における臨床検査薬等の供給に関する協定書締結の報告があり参考資料として活用するようアドバイスがあった。
- ⑪ 会計部より；令和7年度予算案作成の依頼がでている。

2. 中部圏支部医学検査学会について [岡村会長]

①2024年中部圏支部医学検査学会へ視察参加報告

岡村会長（来賓）、酒井副会長、山口副会長、森本学術部長の4名が視察

②2026年中部圏支部医学検査学会開催について（岐阜県担当）

2026年中部圏支部医学検査学会準備小委員会を設置することになった。

実行委員長（酒井副会長）、事務局長（山口副会長）を中心に担当地区（岐阜地区）から2名程度、次期担当地区（飛騨地区）から1名での運営開始

2025年6月から実行委員会の正式立ち上げ予定の提案に対し賛成多数で可決したが、岐阜地区選出人選は後日岐阜地区の会合で決定するとした。

【開催日：会場】

2026年10月30日（金）（準備）～11月1日（日）

長良川国際会議場（仮押さえ済）

また、今後は他県との交流が活発化することから常務理事会・部長会メンバーの名刺を作成することになった。

3. 旅費規程について〔岡村会長〕

前回の理事会にて決定した旅費規程見直しに伴い旅費規程・第一章・総則・別表の変更内容の説明を行った。

4. 議案事項〔岡村会長〕

①他団体からの県学会発表について：

今回、診療放射線技師からの県学会発表へ打診されたが、会員の発表が定数を超えていたため断った。以後同じような事案があった場合にどうするか議案事項とした。

過去に事例がなく、演題数が足りない場合には検討の余地があるが早急な議論の必要性が無いと判断し議論を中止した。

②拡大研修会における他県技師や学生の参加について：

今回の拡大研修会への他県技師や学生への参加を呼びかけてみてはとの意見があった。開催日まで日程的な余裕がなかったが認めることとなった。（詳細は東農地区より）

（酒井副会長）拡大研修会の参加対象の変更について：

予定人数100名に対して現時点で55名の参加申し込みあり。多数の集客希望があり、他県技師、県内大学生の参加を募ってはどうかということになった。参加費として他県の技師からは2,000円、学生からは1,000円を徴収することとする。

（森本部長）

他県の技師の受付については、県内の技師と同様に扱うことで良いのではないかと。

③岐阜県生活習慣病検診等管理指導審議会 肺がん部会員交代について：

一期二年の会務を二期四年にわたり岐北厚生病院の金森先生が勤めていたが、交代要望があった。次期担当は酒井副会長が兼務することになった。

④タスクシフトシェア実務講習会開催について：

今年度3回目が1月か2月に行う予定と聞いているが現在のところ未定である。

⑤執行理事の職務報告について：

次回 12 月の理事会でお願いします。

「第 24 条・6 代表理事及び業務執行理事は、毎事業年度ごとに 4 ヶ月を越える間隔で 2 回以上、自己の職務の執行の状況を理事会に報告しなければならない。」となっている。会長、副会長、常務理事が執行理事となる。

5. パートタイム労働者就業規則について [山口副会長]

「一般社団法人岐阜県臨床検査技師会 パートタイム職員就業規則の見直し（案）について」以下の内容（下線部分）につき協議し、賛成多数で採択した。

- ・（勤務時間および休憩） 第 5 条
 - 1 パートタイム職員の労働時間は 1 日 8 時間以内とし、勤務時間および 1 週間あたりの所定労働日数は原則として労働条件通知書により各人に明示する。
- ・（休日の振替） 第 7 条

前条の休日については、業務の都合により必要やむを得ない場合はあらかじめ他の日と振り替えることが可能である。ただし、振り替えない場合でも休日は 4 週間を通じ 8 日を下回らないものとする。
- ・（年次有給休暇） 第 8 条
 - 5 希望があれば半日での有給休暇の取得も可能であり、半日とは 1 日のパート個々の労働契約時間の半分とする。
- ・（所定時間外、休日労働の割増賃金） 第 19 条

所定時間外労働に対して支払われる賃金は以下のとおりとする。

 - (1) 所定時間外 プラス 50 円
 - (2) 法定時間外（1 日 8 時間・週 40 時間のいずれかを超過して労働） 25%
 - (3) 法定休日 35%（日曜日）
 - (4) 所定休日 35%
- ・（賞与および退職金） 第 22 条
 - 1 パートタイム職員の賞与は、原則支給しない。ただし、6 時間を超える労働時間の契約をしたパートタイム職員においては毎年 6 月 10 日および 12 月 10 日に支給する。（支払日が休日に当たる場合はその前日）支給金額は理事会にて定める。
- ・（定年） 第 23 条
 - 1 契約期間の定めのないパートタイム職員に係る定年は満 65 歳とし、定年に達した日の属する年度の末日をもって退職とする。
 - 2 本人が継続雇用を申し出た場合、最長 70 歳まで延長して勤務することが可能である。延長して雇用するかは単年ごとに理事会にて定める。

(岡村会長)

現在、2名のパートタイム職員と契約していることになっているが、勤務は種村さん1名のみで、他の方の勤務実態は6月の就任以後確認していない。

6. 日臨技報告 [菊地参与：代行岡村会長]

- ・横地会長から、地臨技理事との意見交換の要望あり。
- ・タスク・シフト/シェア、検体採取等に関する講習終了者についての確認。
- ・次年度中部圏支部学会（三重県担当）11/1～2に開催される。10名以内の視察予定。
- ・検査と健康展の今後のあり方についてアンケート調査の予定。意見を岡村会長に提出。
- ・地域ニューリーダー育成研修会について、人材育成部の関先生、市川先生、鈴木先生、伊藤先生の4名でスタートした。その後何名かが参加している。
- ・2026年度の支部学会のタイムスケジュールに沿って実施していく。

各事業部

【組織調査部】 [澤野部長]

*全国検査と健康展について

- ・11月10日にイオンモール土岐にて開催
- ・来場者210名、パンフレット・リーフレットの配布350部
- ・決算報告：予算1,000,000円（日臨技）、支出979,817円（会議費で1,000,000円に調整）

【広報宣伝部】 [市川部長]

*広報誌（12月）発刊について（掲載内容）

- ・全国検査と健康展について（澤野部長、森本部長、各部門長の感想）
- ・微生物部門の研修会の感想
- ・中部圏支部医学検査学会の学術奨励賞受賞に関して（大鹿先生：中部パソロジー）
- ・県学会、研修会などの案内
- ・12/8の拡大研修会の内容 など

【精度管理事業部】

渡邊部長欠席により次回の理事会で報告を受けることにする。

【学術部】 [森本部長]

1. 決算承認の件について

- ・生理部門研修会：
岐阜医療科学大学にて開催、参加人数19名

予算 21,600 円、決算 18,824 円（講師料など）内 11,324 円（岐臨技負担）

・一般部門研修会：

Web セミナーにて開催、参加人数 177 名

予算 9,000 円、決算 9,000 円（講師料など）（岐臨技負担）

・病理部門研修会：

Web セミナーにて開催、参加人数 65 名

予算 9,200 円、決算 8,200 円（講師料など）（岐臨技負担）

2. 企画・予算承認の件について

・輸血部門研修会：

12 月 21 日（土）、ウェブ（Zoom ミーティング）にて開催（技師会事務所から発信）

内容は精度管理報告と症例検討、3 名の会員講師に依頼、定員 20 名、

予算 9,300 円（岐臨技負担）（会費無料）

3. 学術論文投稿について

・「岐阜県臨床検査技師会誌」投稿論文募集のお知らせ

現在 1 名の応募があり。他に岐阜医療科学大学から 1 名応募があるが、教師か学生かは不明である。

4. 謝金についての検討

・岐臨技と日臨技、愛知県の比較表により、現在の岐臨技の謝金に関する内容には、日臨技や愛知県とかなりの開きがあることが判明した。

・今回の提示案では、1 回の開催イベント（県学会や研修会など）によって現行より 10,000 円前後が上乘せされると予想され、それによって年間 200,000～500,000 万円が増額となる見込みである。

（岡村会長）

拡大研修会が 2 回から 1 回になり運営費が削減されたことや、会議が Zoom になったことによる交通費が削減されたことで支出が減額された一方、会費が 10,000 円から 7,000 円に減額されたことによって収入も減少した。今後、会計収支の動向をみていくこととする。

（森本部長）

総会での案件であり、次年度予算として計上してはどうか。年間計画の具体的立案も必要と思われる。

（岡村会長）

オブザーバーの導入、理事会の会議費や実行委員・実務委員に対する経費も考慮してはどうかという意見もある。森本部長に案の作成を依頼し、提案書を元に予算書を作成することとする。

5. 今後の学術部活動について

- ・後継者不足への対応として、班員勧誘の班紹介動画や独創的なチラシ作成、技師会ホームページへの掲載（班員募集）をしてはどうかとの提案あり。

（岡村会長）

各部の後継者もないということもあり、業務の引継ぎも問題となる。各部の状況を把握・共有し、今後の対策を考えていきたい。

【渉外部】 [荻谷部長]

- ・肺がん部会委員の変更について（上記）、岡村会長に一任する。
- ・令和 7 年度予算案に対し、中部支部圏医学検査学会関連の記入の要不要を過去の記録で調べる。（前会計部長として）

【会計部】 [乾部長]

- ・月別決算報告 9 月および 10 月分の報告をする。
- ・令和 6 年度 岐阜県臨床検査技師会 月別決算表 9 月分
 - ① 経常収益計：238,501 円
（主たる内訳）受取会費（賛助会員会費）30,000 円、事業収益（精度管理参加費）116,000 円、受取補助金等（学会研修会助成金）50,000 円
 - ② 経常費用計：2,336,436 円
（主たる内訳）事業費；旅費交通費（日当）18,000 円、旅費交通費（旅費交通費）2,400 円、通信運搬費（配送料）145,651 円、消耗品費（消耗品費）19,835 円、消耗品費（試薬・試料代）1,478,224 円、支払負担金（会場費）71,580 円、支払負担金（振込手数料）23,650 円
管理費；旅費交通費（日当）11,000 円
- ・令和 6 年度 岐阜県臨床検査技師会 月別決算表 10 月分
 - ① 経常収益計：179,891 円
（主たる内訳）受取入会金（入会金）2,000 円、受取会費（正会員会費）28,000 円、事業収益（精度管理参加費）61,500 円、事業収益（研修会等参加費）8,700 円、事業収益（広告料）36,000 円
 - ② 経常費用計：929,915 円
（主たる内訳）事業費；旅費交通費（日当）74,000 円、旅費交通費（旅費交通費）33,620 円、旅費交通費（食卓費）29,000 円、通信運搬費（配送料）56,010 円、消耗品費（消耗品費）4,362 円、消耗品費（試薬・試料代）2,870 円、支払負担金（会場費）220,000 円
管理費；旅費交通費（日当）22,000 円

その他

特になし

以上

議長 岡村 明彦 

議事録署名人 酒井 美穂 

議事録署名人 山口 明彦 